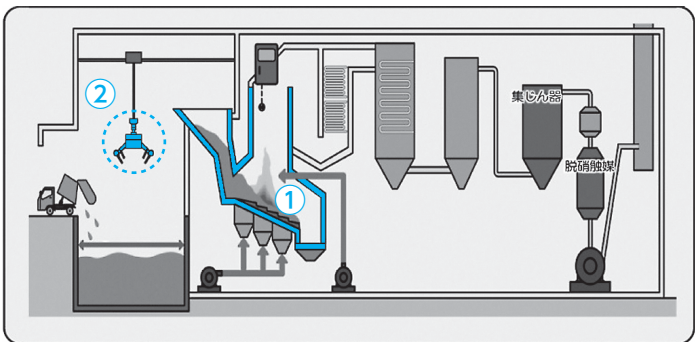


# 新クリーンセンターだより

その⑫

今月は、平成30年秋の稼働を目指している、新クリーンセンター（環境の森センター・きづがわ）の焼却炉内の耐火・耐熱レンガの設置とごみクレーンの工場検査の状況についてお伝えします。



## ① 焼却炉内の耐火・耐熱レンガの設置

ごみを燃やす焼却炉内の温度は、850℃の高温となります。  
炉内の温度を保ち、外へ熱を逃がさないよう耐火・耐熱レンガは、850℃

以上の高温に耐え、膨張などの変形の少ない材質の物を選定し設置しています。

同レンガの設置で、焼却炉側壁の外側の室内温度は45℃程度に抑えられます。

## ② ごみクレーンの工場検査

ごみクレーンは、ごみピットに搬入されたごみを焼却炉に投入する機器です。また、投入するごみが均質になるよう、ごみピット内でごみを攪拌（かくはん）する際にも使用します。

ごみクレーンに取り付けたバケット1回のつかみ動作で4・5立方メートル（約30世帯の1週間分）のごみをつかみ、ごみの重さも計測します。

新クリーンセンターでは、ごみクレーンを自動制御で運転するため、自動制御システムに関する検査も製造工場で併せて実施しました。

